

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	豊田市こども発達センター たんぼぼ		
○保護者評価実施期間	2025年11月18日		2025年12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年8月20日		2025年8月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的な職場研修実施による職員の資質向上 多職種連携によるきめ細やかな支援	たんぼぼは運動発達に支援が必要な子どもが通ってきているため、運動・摂食嚥下の発達、医療的ケア、感染症、身体拘束を含めた虐待防止についてなど幅広く知識が得られるようにしています。また、定期的に関係職員（医師、リハスタッフ、相談支援専門員など）との情報共有の機会を設けています。	さらなる研修の充実の他、のぞみ診療所医師を含めた関係職員との連携を密にし、こどもとご家族が安心、安全に利用していただける専門性を培っていきます。
2	事業所職員・訪問看護師・保健師・市内こども園職員（保育士・看護師）の実習受け入れ、関係機関との会議への参加等、幅広い地域の関係機関との連携	たんぼぼの療育や支援を実際に見て、理解してもらえる機会を設けています。	重症心身障がい児、医療的ケア児の家庭を身近で支えている私たちたんぼぼ職員が問題を提起し、解決や改善に導けるよう努めます。
3	保護者勉強会、施設見学など	家族通園施設であるため、日頃から保護者支援には重点的に取り組んでいます。将来を考えるための講演会や施設見学、たんぼぼOBとの座談会などの他、各種勉強会や父親懇談会、調理実習などを企画、実施しています。 令和6年度好評だった調理実習をより充実できるよう、内容の再検討をしました。昨年度は午前のみで慌ただしかったため、今年度は午前調理実習、午後振り返りとし、ゆとりをもって参加ができるようにしました。	各種勉強会など、さらなる充実に努めます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援計画の関係職員間の共有不足	定期的に関係職員（医師、リハスタッフ、相談支援専門員など）と連携していますが、児童発達支援計画の内容の共有については充分できていない部分もありました。	計画立案から作成後の情報共有まで関係職員との情報共有を確実にできる仕組みづくりを検討します。 多職種の意見を反映した計画の作成と、計画を反映した支援内容を提供します。
2	母国語が日本語でない外国籍の方に向けたサービス提供	今年度は日本語でのコミュニケーションが難しい園児、保護者は在籍していませんでしたが、今後増加することが見込まれます。	日本語表記のみでなく、多言語表記の作成に取り組みます。 翻訳アプリや写真の提示など、円滑なコミュニケーション方法を検討します。
3			